

老 弁城春田地区の「六夜様」 若男女が得意な芸を披露

弁城春田地区の「六夜様」が8月25日に行われ、地元住民がこの日のために練習してきた歌や踊り、ダンスなどを特設ステージで披露しました。この六夜様は、その昔春田地区で難病が流行したときに、祭りを行って厄払いしたことがきっかけで始まって以来、数百年にわたって伝えられている伝統行事です。※この祭は福智町振興事業等補助金を活用して行われました。



↑「河内おとこ節」など全21演目が披露され、今年も大盛況で幕を閉じた六夜様。

↓ひめゆりの塔で沖縄戦の悲慘さを肌で感じ、思いを胸に献花を行った参加者。



沖 2012 沖縄平和学習「少年の翼」 縄の地で学んだ命の重さ

台風の影響で延期されていた交流事業実行委員会主催の沖縄平和学習「少年の翼」が、8月28日から3日間の日程で開催されました。沖縄県中城村にホームステイし、世界遺産の首里城を見学するなど、沖縄の歴史や文化を体感。平和学習では、ひめゆりの塔資料館や平和祈念堂などの沖縄戦の慰霊の地を訪れ、戦争の悲慘さや命の尊さについて、深く胸に刻みしました。

子 第8回弁城夏祭り 子どもたちに感動を届けた弁城の夜

8月18日にふじ湯の里で弁城夏祭りが行われました。「子どもたちが色々な文化と触れ合える祭りにしたい」という実行委員の思いから、毎年多様なパフォーマーを招き、今年は空手とエアロビクスを融合した「才色拳美」のダンスや「喜納琉かりゆし」による琉球民謡などが特設ステージで披露。恒例の大抽選会も行われ、子どもたちの可能性を広げる熱い夜となりました。



↑祭のラストを最高潮に盛り上げた、創作和太鼓集団「太鼓原人」(古賀市)の演奏。

↓上野焼協同組合から7人が講師として参加し、子どもたちの器作りをサポート。



世 上野焼「子ども作陶教室」 世界でたったひとつの器作りに挑戦

9月16日に中央公民館で福智町子ども育成連絡協議会主催の上野焼「子ども作陶教室」が行われました。参加した子どもたちは、粘土をひも状にして積み上げる「てびねり」で、思い思いにカップや皿などを成形。小さな芸術家たちは、初めての体験に四苦八苦しながらも、楽しそうに自分だけの作品を作陶しました。完成した作品は11月に引き渡し予定です。

↓今年もゲストに歌手の藤かおりさんを迎え、プロの歌声に合わせ「福音音頭」や「炭坑節」を踊った参加者たち。



福 第7回福智町水と灯火の夕べ 福智の夏の一大イベント

彦山川と中元寺川の合流点河川敷で、8月25日に「水と灯火の夕べ」が開催されました。平成4年から地域のひとと、人と水のふれあいをテーマに実施され、合併後は福智町の一大行事として定着したこのイベント。町の中央にあたる会場には、浴衣姿の踊り手約150人が町内各地から集結し、やぐらを中心に人の輪をつくって踊りを披露しました。その後、川辺で灯ろう流しと約800発の打ち上げ花火が行われ、過ぎゆく夏を惜しむかのように、大輪の花が福智の夜空と人々の心を彩りました。

狙 第6回グラウンドゴルフ大会決勝 狙い澄まして狙うは頂点

福智町グラウンドゴルフ大会決勝が、9月9日に赤池グラウンドで行われました。各支部予選を勝ち抜いた30チーム160人の精鋭たちは、8ホールを2ラウンドずつ競技し、日頃の練習の成果を十分に発揮。さわやかな汗を流し、互いの親睦を深めました。【結果】優勝：丸山、準優勝：野添B、3位：赤池28区、4位：野添A、生涯現役で賞：94歳の原田福次郎さん(方城)



↑44本のホールインワンが飛び出すなど、ハイレベルな戦いが繰り広げられた決勝。

↓川の流れに足を取られながらも、上流目指し協力して沢登りを行ったメンバー。



故 夏季少年のバス 郷を離れ心身を育んだ3日間

福智町町民会議主催の「夏季少年のバス」が8月17日から2泊3日で行われました。宮崎県五ヶ瀬の里キャンプ村で、沢登り体験や自分たちで加工した竹を使っの流しソーメンなど、仲間と交流を深めながら大自然の中で貴重な体験を満喫。参加した小中学生33人は、輝く太陽の下で多くの発見に胸を弾ませ、こんがり焼けた肌に夏の思い出を刻んだようです。